

HEARTFUL

笑顔と心をつなぐネットワーク は一とふる

2024年
夏号

特集

明るい社会づくり運動 一斉活動「SDGs活動の日」を実施

|連載|

なんでも知っとこゼミナール

新連載

サステナブルな視点





明るい社会づくり 運動と私の宝

昭和55年、私が34歳の時、当時住んでいた東京・保谷市（現・西東京市）で「明るい社会づくり運動」を発足させることになり、事務局長という大役を頂きました。

初めての理事会には、都丸哲也市長（当時）のほか各分野の有識者の方々が集まりました。会議の中では、「会長をどなたにお願いするか」という議題になり、都丸市長が、「私が卒業した母校の先生が市内にお住まいなのでどうか！」と提案してくださり、事務局長である私が、お願いに行くことになりました。

その先生とは、元学習院大学長の児玉幸多先生でした。先生は近世史の大家であり、のちに江戸東京博物館の初代館長に就任された方です。当時の皇太子殿下（現・天皇陛下）のゼミの先生でもあり、皇室とも深いかわりのある先生でした。

初めてお目にかかる先生は温厚で気品のあるお姿でした。書斎は本で埋め尽くされていました。



菅 康夫
かけひ

特定非営利活動法人明るい社会づくり運動理事

私は「明るい社会づくり運動」提唱者の庭野日敬先生のことと明社活動のことを一通りご説明したあと、「会長をお願いしたい」とお伝えしました。

しばらく聞いていた先生は、最後に「わかりました。引き受けましょう」と静かな口調で応えてくださいました。その時は内心飛び上がりました。嬉しく、提唱者のお徳を心底感じました。

その後、東京明社協議会の会長会が日比谷で開催され、庭野先生が迎えてくださいました。児玉先生をご紹介しますと、庭野先生は名刺を差し出され、深々と頭を下げて「よろしくお願い申し上げます」と挨拶をされました。私にとっては感動の一瞬でした。

それから19年間、児玉先生は2代目会長に引き継ぐまで、会長を精力的に務めてくださいました（平成19年7月ご逝去、享年97歳）。

提唱者の庭野先生と児玉先生との出会いに立ち会えたことは「私の宝」として心に納めてあります。

耀メッセージ

- 1.....**特集** 明るい社会づくり運動一斉活動「SDGs 活動の日」を実施
- 10.....なんでも知っとこゼミナール
- 12.....**新連載** サステイナブルな視点
- 14.....Palネット
- 16.....通常総会報告（概要）

掲示板

耀！連隊 明社レンジャー

Contents

はーとふる2024年 夏号

【目次】



特集

明るい社会づくり運動 一斉活動 「SDGs活動の日」 を実施

今年で3回目となる「SDGs活動の日」には、全国各地の明るい社会づくり運動 32 団体がエントリーし、6月9日を中心にそれぞれの地域で、清掃や資源回収を行いました。これは、国連のSDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指すもので、若年層の参加が年々増え、今年はより一層活気にあふれる活動となりました。今号では、各地の様子を紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





Photoリポート

今年もみんなで取り組んだ「SDGs 活動の日」——。

全国各地で展開された活動をご紹介します。

「SDGs 活動の日」の写真をたくさん送ってください、

ありがとうございました！ 来年もまた、がんばりましょう！！





一斉清掃活動と SDGsとの関連 そして今後への提案

街の一斉清掃活動（ごみ拾い）がSDGsにどのように関連するか、読者の皆さんと一緒に順を追って考えてみたいと思います。

【SDGs 17ゴールでの整理】

SDGsは17項目のゴール（目指す状態）が設定されていますので、まずおおまかにごみ拾いがどの項目に関連しているかを考えてみましょう。

ごみ拾いが直接的に貢献しそうなものとしては、ごみ拾いによって街が住みやすくなるという観点ではゴール11「住み続けられるまちづくりを」が、ごみが最終的に海を汚してしまうことを防ぐとい

堺 勇人



profile

（さかい・はやと）

環境問題と教育に関心を持ち、環境コンサルタント業と教育業（フリースクールおよび中高理科教員）に20年携わる。富山に移住し、だれもが幸せに暮らせる社会を夢見て様々な活動をしている。2児の父。趣味は音楽と釣りと畑とエコDIY。環境省EPO中部協働コーディネーター。SDGsカードゲーム公認ファシリテーター。

一般社団法人環境市民プラットフォーム
とやま（PECとやま）常務理事／事務局長

う観点ではゴール14「海の豊かさを守ろう」が、それぞれ挙げられるでしょう。

次に副次的な意味では、ごみを拾うことでごみ削減やリサイクル、私たちのライフスタイル見直しなどへの関心が喚起されるとすればゴール12「つくる責任つかう責任」が、また、多様な方々と一緒に活動する機会という意味ではゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」が当てはまるでしょう。

このようなおおまかな整理だけでも良



①一斉清掃活動（ごみ拾い）が直接的に貢献する SDGs ターゲットと指標



都市による環境負荷を減らす

ターゲット

11.6：2030 年までに、大気
の質及び一般並びにその他の廃棄物
の管理に特別な注意を払うことによ
るものを含め、都市の一人当
りの環境上の悪影響を軽減する。

指標

11.6.1：発生した都市ごみ
全体のうち、収集され、管理
された施設で処理された都市
ごみの割合（都市別）。

一斉清掃活動が果たす効果

放置されたごみを市街から収
集し、管理された施設での処
理に回すことができる。



海洋汚染を減らす

ターゲット

14.1：2025 年までに、海洋ご
みや富栄養化を含む、特に陸上活
動による汚染など、あらゆる種類
の海洋汚染を防止し、大幅に削減
する。

指標

14.1.1 (b)：プラスチックご
みの密度。

一斉清掃活動が果たす効果

海に流れ着くプラスチックご
みを削減することができる。



外務省
ウェブサイト

※各ゴールをクリックするとそ
れぞれのターゲットと指標を
見ることができます。

このように、一斉清掃活動をSDGs
先ほど挙げたゴールに関連するターゲ
ット・指標をウェブサイトから抜き出し
たものが上の表と次ページの表です（一
部、筆者が簡易表現に書き直しています）。

SDGsの17ゴールごとのターゲッ
トや指標は、外務省ウェブサイトの
「SDGグローバル指標」で紹介されて
いますのでご参照ください。

【さらに具体的なターゲット・指標との関連】

いですが、SDGsは17ゴールそれぞれ
に、それを達成に導くための複数の小目
標（ターゲット）と数値目標（グローバ
ル指標）があり、それらに沿って達成を
目指す形をとっているのです。それらとご
み拾いの関連性を整理すると、より客観
的な根拠に基づいて活動を評価できるで
しょう。それではそのターゲットや指標
とはどのようなものかをご紹介します。

②一斉清掃活動（ごみ拾い）が副次的に貢献するSDGsターゲットと指標



廃棄物の発生的大幅な削減

ターゲット

12.5：2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

指標

12.5.1：再生利用率、再生利用量（t）。

一斉清掃活動が果たす効果

ごみ削減やリサイクル等への関心を高められる。



持続可能なライフスタイルの理解を広く浸透させる

ターゲット

12.8：2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。

指標

12.8.1：地球市民教育及び持続可能な開発のための教育が、広く行き渡っている状態。

一斉清掃活動が果たす効果

ごみ削減やリサイクル等へのライフスタイル見直しへ関心を高められる。



効果的なパートナーシップの奨励

ターゲット

17.17：さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

指標

17.17.1：官民パートナーシップ促進に使われた金額。

一斉清掃活動が果たす効果

分野や属性を超えた多様な人々で一緒に協力して行うことが促進される。

で評価すると、活動をより客観的、多面的に捉えることができ、指標を参考にした具体的な効果測定にもつながられるのではないだろうか。

【今後への提案：特定外来種の除去活動】

一斉清掃活動を行う中で、道端の様々な植物や生き物を目にすることもあるでしょう。中には、本来日本には生息していなかった外来種と呼ばれる動植物にも遭遇するかもしれません。例えば、かつては園芸種として全国で栽培されていたオオキンケイギクやオオハンゴンソウは、現在広く自然界へも生息地を広げ、今では日本の在来種の生息を脅かす存在となっています。環境省ではこれらの生物を「特定外来種」として指定し、栽培の禁止や除去活動などを求めています。

外来種については、ゴール15「陸の豊かさを守ろう」のターゲットにもなっ



環境省「日本の外来種対策」ウェブサイト

参考）環境省「日本の外来種対策」ウェブサイト



オオキンケイギク

いて、世界的にも行動することが求められています。一斉清掃活動とともに、外来種除去活動も私たちが身近なところからSDGsに大きく貢献できる取り組みの一つです。各地域で取り入れてみてはいかがでしょうか。

※外来種除去活動には、自治体ごとに方針や制限などがあるので、活動に際しては各自自治体に問い合わせるなど事前の確認が必要です。



札幌市ウェブサイト

参考）札幌市のウェブサイトより「特定外来生物」に関する情報

③特定外来種の除去活動が貢献する SDGs ターゲットと指標



陸域および海洋生態系への外来種の侵入防止

ターゲット

15.8：2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優占種の駆除または根絶を行う。

指標

15.8.1：外来種に関する国内法を採択しており、侵略的外来種の防除や制御に必要な資金等を確保している国の割合。

外来種除去活動が果たす効果

自治体の方針や制限などによって外来種を除去できる。

※1 ターゲットの図柄：https://oneplanetcafe.com/target_finder_detail/ より引用

地域への感謝

大宮明るい社会づくりの会



倉林 克昌

大宮明るい社会づくりの会は6月9日、武蔵一宮氷川神社の参道「氷川参道」の清掃奉仕を行い、小学生から88歳まで53人が参加しました。参道は全長2キロ強と日本一長いことで有名で、朝7時半に集まった参加者は、二の鳥居から三の鳥居までの約440メートルを、隅々まで丁寧に清掃しました。

清掃活動は、「自分の住んでいる地域環境への感謝」として、先輩の皆様から引き継がれて約50年間、毎月行われており、参加者一人ひとりの心を豊かにし、神社に参拝する多くの方々にも喜びを与えております。

毎回参加してくれる小学校6年生の萩谷湊太朗君の感想です。「最初に氷川参道清掃に参加した時は、めんどくさかったけど、最近は、掃除をすると気持ちいいなと感じたり、神様にお参りしたり、良いことをして願いが叶ったら良いなと思えるようになりました」。

先輩諸氏から紡いできた清掃活動の大切な点を小学生が学んでくださり、「ずっと将来につながる活動になっているな」と皆さんが感じております。

今後、世代を超え、手を携えて、緑豊かな氷川参道の美化活動に邁進してまいります。

かたつむりのおやくそく

明るい社会をつくる板橋区民の会



蚊口 育子

板橋区にはSDGsを見据えた「かたつむりのおやくそく」という運動があります。①かたづけ上手、②たいせつに使う、③かいきる、④むだにしない、⑤サイクルという5つの実践の頭文字を取って「かたつむり」です。私は、この運動に興味がありましたので、明社が行う「SDGs活動の日」のクリーン作戦は、実践するいい機会だと思い、3年前から参加しております。

単にごみ拾いをしているだけなのですが、ごみを拾っているうちに、宝探しをしているようで楽しくなり、「あった！見つけた！」とビニール袋にごみという名のお宝が増えていく感覚で実践してきました。毎年参加している方と、「年々、ごみ（お宝）が減っている気がしますね」と話しながら、お宝を探し続けています。

ごみを拾うという地味な作業ですが、一人ひとりが、まず自分からという意識で取り組んでいけば、地域へ、また日本全体へと広がります。

地球に優しい環境づくりが広がっていったら嬉しいなと思います。これからも地味なお宝探しにかかわっていききたいと思います。